

平成30年度第1回 鹿児島市行政改革推進委員会 概要録

日時：平成30年6月28日（木）15:00～17:05

場所：市役所東別館9階特別中会議室

委員意見、事務局回答	
1	<p>○確定面積平面図等閲覧システム構築事業について、年間閲覧数の目標値が600件で、現状値が977件となっているが、どういう考えか。</p> <p>→この指標は、ホームページで公開することで、窓口での閲覧件数を減らしたいというものである。</p>
2	<p>○国民健康保険事業における保険委員制度の廃止について、廃止でどのような効果があるのか。</p> <p>→保険委員制度は、口座引落が一般的ではない時代の昭和44年に始まった制度で、保険委員が各家庭を訪問し国民保険税を徴収していたが、口座引落が普及したことなどから、廃止することとしたものである。</p>
3	<p>○市電・市バスのロケーションシステム等の導入について、市バスはもっと大きな改革をして、市の役割を減らしていくということだったと思うが、このこととの整合性はどうか。</p> <p>→ロケーションシステムは、市電・市バス利用者の利便性向上のためにスマートフォン等に位置情報や遅延状況等を提供するサービスである。事業縮小については、昨年度、このままでは存続も危ぶまれているバス事業について、交通局の経営審議会に諮問し、その結果、事業縮小を図るべきとの方向性が示され、現在、事業縮小、具体的には路線の移譲等を民間に行うことについて検討を進めているところである。すべての路線を移譲するものではないので、ロケーションシステムを使用することになる。</p>
4	<p>○大学との連携について、市の施設ごとにもっと連携が進めばいいと思うが考え方を示してほしい。</p> <p>→大学との連携については、10年程前から研究やインターンシップなど、市長事務局・企業含めて取組ができる場所はやっていこうということで取り組んでいる。今後とも引き続き取り組んでいくべきものであると認識している。</p> <p>→一昨年度までに、鹿児島市と市内の大学すべてが包括協定を結んだおかげで、これから組織的に増えていくと思う。今、協力体制が整ったところで、これからできる範囲で工夫しながら進めていくところであると考える。鹿児島市は、機動性があり、意欲的な施策を行っていると感じている。</p>
5	<p>○市職員の町内会加入率を教えてください。</p> <p>→町内会の加入率については、市内全体では低下傾向にあり、29年度で55%程度であった。その中で、市職員の加入率は93%程度で増加傾向である。また、できるだけ町内会活動に職員も参加するように、毎年呼びかけも行っている。</p>